

外来へび類の 目撃情報を 集めています。

これらの外来へびは、やんばる三村(大宜味村・東村・国頭村)ではまだ分布していないことになっています。そのため、早期発見・初期防除がとても大切です。

有毒



【特定外来生物】

80~130cm

台湾ハブ

Protobothrops mucrosquamatus

中国南部、台湾原産。ハブ酒に用いるため輸入されたものが逃げるなどして、名護市などで急速に分布を広げている。ハブより一回り小さいが、気性が荒く攻撃的。うかつに近づくと矢のように飛びかかってくる。



【特定外来生物】

180~270cm

台湾スジオ

Elaphe taeniura friesi

台湾原産。うるま市や沖縄市などで分布を広げている。しっぽの両側の黒いスジが特徴的でこの名がついている。毒はないが、2mを超える大きなへびとなり、ネズミや小鳥を好んで食べるため、もとすんでいた生きものに深刻な影響をおよぼすと考えられている。



やんばる三村(大宜味村、東村、国頭村)で
外来へび類を見かけたら？

- ・むやみに近づこうようなことはせず、へびから十分な(1.5m~2m)距離をとる。
- ・可能な限り観察し、種類を判別する。※へびを刺激しないよう十分注意してください。
- ・目撃情報はやんばる野生生物保護センターまでご連絡ください。

やんばる野生生物保護センター

☎ 0980-50-1025

よく似た在来ハブ類

やんばるに生息する在来のハブ・ヒメハブは有毒ですが、やんばる地域の生態系を構成する大事な一員です。人に危害がない場合は、そっと見守ってください。

有毒



ヒメハブ

Ovophis okinavensis

40~80cm

ハブの半分ほどの体長で長さのわりに胴が太い。カエルが好物のため、水辺を好む。動きは鈍くじっとしていることが多い。ニーブヤアー(沖縄方言名)。

有毒



ハブ

Protobothrops flavoviridis

130~240cm

体長2mにもなる大型のへび。分布域が広く個体数も多い。ネズミを食べるため人家近くにも生息する。夜行性で昼間見ることが少ない。